

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する。
相談機関として、相談者の抱えている課題を適切に評価し、支援に結び付けていくことが必要。そのための職員の力量も求められている。
豊富な情報量、連携機関との良好な関係、それ等を結びつけることのできる関係性。ひとつずつ丁寧に、意識的に積み重ねていく。
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
相談センターに寄せられる相談内容には、さまざまな家族の課題や、家族の関係性が複雑に絡み合っている場合も多い。それを解決に導くためには、家族支援の目線で複合的に関係機関に働きかける必要がある。常に、俯瞰的に課題をとらえることを考慮したい。
また、個別に現れる課題は、地域課題の表出であることを十分に念頭におき、コミュニティー・ソーシャルワークへのアプローチも積極的に行っていく。
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
地域包括ケア体制の中で、地域の多様な課題を解決し、地域支援をしていくためには、これまでの時代とは違ったあらたな相談スキルの上乗せが求められている。相談援助技術の向上により、相談員の評価を高め、職員のモチベーションを上げることにより、人材の確保と定着につなげていく。
また、当施設発信で法人全体の相談員の質の向上が目指せるレベルの教育体制を構築していく
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
高齢者あんしんセンター神田との、支援・連携体制をこれまで以上に強固なものとして確立し、地域支援の中で当法人の位置付けをさらに不可欠なものに高めていく。それにより、経営体制が確立されていくことを目指す。

施設の取組

1. 関係機関との連携
千代田区の高齢者総合相談窓口として、千代田区社会福祉協議会、九段坂病院、自法人サービス提供事業所、他事業所、警察等の、多くの機関と連携し、多岐にわたる問題を解決に導くネットワークを形成していくことが求められている。実務の執行にあたっては、独立した相談機関であることを念頭に、関係機関と十分な協議を行い、利用者の権利と利益を擁護していく。
2. 地域支援体制整備
長期的視野に立ち、地域住民を側方支援する立場で、そのニーズを満たす方法を検討し、関係機関とともに地域支援体制を創りあげていく。
3. 職員の相談援助技術向上
インテークでの信頼関係形成から、相談者が抱える課題についての評価。そして、それを解決するための社会資源についての知識。さらにエンパワメント技術等、職員に求められる相談援助技術を、OJT、OFFJT、両面から計画的に学び合う体制を整備していく。